

青森県 青森市立 浪岡中学校

●生徒数:482名

万引、非行行為の抑制策として、 小中学校合同の「あいさつ運動」で 成果をあげる。

《学校紹介》

昭和51年創立。平成17年に浪岡町が青森市と合併して現在に至る。
近隣地区は過疎化で閉鎖もある中で、生徒数はほぼ横ばいの状況。

【あいさつ運動概要】

- ◎主体：部活動各クラブと生徒会
- ◎形態：それぞれの部活動の延長で
校門前から入り口まで実施
- ◎頻度：校内では毎日。他定期的に近隣
小学校と合同で実施

【特長】

浪岡中学校では、以前一部の生徒の問題行動によって、近隣地域から苦情が寄せられた時期もありました。このため、青森県警察の「JUMPチーム」の一員として、規範意識の低下を防ぐ活動を開始。同時に「あいさつ運動」も取れ入れました。校内では毎朝部活動の持ち回りや生活執行部員が主導して、声がけ運動をするほか、昼休みや生徒集会での意識づけ活動も行います。また、地域のリーダーとしての自覚をもってもらうため、地域の「浪中JUMPチーム」が



●近隣小学校との合同で「あいさつ運動」を定期的に実施



●「JUMPチーム」と共に活動展開



●ポスターでも非行防止を呼びかけ

地域の小学校を訪れ、定期的な合同運動も実施。登校前の時間に小学生と一緒に、あいさつ運動を行います。
この施策は小中学校ともに大きな効果をあげ、近隣住民からもあいさつをするようになったという声が寄せられるようになりました。

【メリット・効果】

- ◎規範意識が芽生え、万引き等の問題行動が抑制される
- ◎引っ込み思案な生徒が、積極的な発言をするようになる
- ◎小・中学校間の子どもと教職員同士のコミュニケーションが円滑になる

トピックス

行動規範の醸成は、 中学生になってからでは遅い

小中合同の「あいさつ運動」にはいくつかのメリットがあります。中学生は小学生を指導する立場となり、後輩たちに見られる意識が高まります。小学生たちは顔見知りの卒業生などを見つけて、新鮮な気持ちであいさつをしています。また子供たちが規範意識を身に付けるには、中学校では遅いという判断もあり、数年後に入学するという前提で、早い時期から小・中学校が連携して取り組むことによる効果が期待できます。なお、万引き等の問題行為については、活動開始後に激減しています。



浪岡北小と合同あいさつ運動